

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		金子 譲一	所 属		理学部 数理科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.40	講義は、シラバスに書いたものを消化出来るよう特に時間配分に配慮して行う。また3年次指導教員として、引き続き修学指導等を行なう。		0.40	シラバスはほぼ完全に消化した。また、3年次指導教員として、必要な修学指導を行なった。			
研究	0.40	Koorwinder多項式とq-Selberg積分に関する論文に推敲を加え、然るべき雑誌に投稿する。		0.40	新たな発展があったので、論文の改訂を行なっている。			
社会貢献	0.00			0.00				
管理運営	0.20	理学部学生支援委員として、学生の修学支援等を行う。		0.20	理学部学生支援委員として、学生の修学支援、就職活動支援を行なった。			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		神山 靖彦	所 属		理学部 数理科学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケートで、説明が丁寧で内容に興味を持てたと評価されるようにする。 幾何の講義で、ここで説明したことが私の研究内容にどう発展していくか概説する。 卒業研究の指導教員として、就職活動や教員・公務員試験対策などに積極的に取り組むよう指導する。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> 数学序論の授業評価アンケートで、「説明したことを黒板にほとんど書いてくれたので、板書や復習がしやすかった。」と書かれた。 幾何の授業評価アンケートで、「分かりやすい例を挙げることで理解しやすかった。重要な定理をしぼることで自主学習しやすかった。」と書かれた。 ゼミ生2名の研究授業参観のため、中学校に行った。この2名は教員採用試験に現役合格した。 			
研究	0.35	<ul style="list-style-type: none"> 獲得済みの科学研究費補助金を有効に活用した研究を行う。 論文を執筆し、国際誌へ投稿する。 		0.35	<ul style="list-style-type: none"> 科研費を共同研究者なしの研究代表者として持ち続けているのは、ちょうど20年目であるが、惰性になることなく有意義に執行した。 論文を国際誌に出版した。 何年振りかで講演したら、非常に好評であった。 			
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> 雑誌GeometryとScientific World Journalのエディターを継続して行う。 国際誌から依頼されたレフェリーを行う。 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> 国際誌から依頼されたレフェリーを行った。 5月にOISTで行われた15大学理学部長会議に副学部長として出席し、他大学理学部やOIST所属の教職員と交流を持った。 			
管理 運営	0.25	<ul style="list-style-type: none"> 副学部長として、学部運営に尽力する。 1年次指導教員として、適切な生活指導・就学指導を行う。 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> 副学部長として人件費削減問題に対応するため、将来計画委員会を運営した。ゆんたくタイムは皆勤中で、他系教員と情報交換は有意義である。 1年次指導教員として種々の指導を行った。1・3研修で相談なども受けた。 			
	0.00			0.00				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		須藤 隆洋	所 属		理学部 数理科学科	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.50	微分積分学、解析学序論、解析学III、及び解析学IVの講義の準備を行う。大学院ゼミの準備を行う。修士1年次の指導教員として学生支援を行う。			0.45	微分積分学、解析学序論、解析学III、及び解析学IVの講義の準備をし、講義を行った。大学院ゼミの準備をし、行った。修士1年次の指導教員として電子メールの配信等の学生支援を行った。		
研究	0.40	研究成果を論文にまとめ、雑誌に掲載される目的で投稿する。			0.40	研究成果を3編の論文にまとめ、雑誌に掲載される目的で投稿をした。その内、査読無しの1編が出版され、査読付きの2編の内の1編が電子出版されて掲載予定となり、残りの1編は、審査中であった。2015年に投稿した査読付きの論文1編が電子出版されて掲載予定となった。		
社会貢献	0.05	論文の評論を行う。研究成果を発表する。			0.10	論文の評論は、アメリカ数学会のMath Reviewの4編、ヨーロッパ数学会のZ MATHの9編を行った。研究成果の発表は、日本数学会秋季総合分科会で1件の一般講演を行った。		
管理運営	0.05	理学部の紀要編集委員及び研究推進委員として貢献する。数理科学科の22大学委員として貢献する。			0.05	理学部の紀要編集委員及び研究推進委員として貢献した。数理科学科の22大学委員として、日本数学会春季及び秋季年会における22大学委員会に参加して、貢献した。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		杉浦 誠	所 属		理学部 数理科学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.65	担当する共通教育、学部および大学院の授業を適正に行い、公正に評価をする。 3年次の指導教員として適切な進路指導を行う。アクチュアリーコースを中心とした学部4年次の学生および博士前期課程の大学院生の指導を適切に行う。		0.70	担当した共通教育、学部および大学院の授業を適正に行い、公正に評価をした。3年次の指導教員を適正に行えた。アクチュアリーコースを中心とした学部4年次の学生および博士前期課程の大学院生の指導を適切に行った。
研究	0.10	確率解析もしくは保険数理に関するに関する研究を行い、成果が出れば発表する。 ※外部資金獲得に向けた取組がある場合には必ず記載ください		0.10	アクチュアリー関連の数理の勉強を行ったきたが、成果は出せなかった。
社会 貢献	0.10	教員免許更新講習などを行う。		0.10	教員免許更新講習など適正に行えた。
管理 運営	0.15	担当する委員および委員会委員として適正に活動する。		0.10	担当する委員および委員会委員として適正に活動できており、今後も適正に行う予定です。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		前田 高士	所 属	理学部 数理学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.25	2年次代数：脱落者を出さないようにする。 卒業研究：卒業後の進路を踏まえたゼミを行う。 修士1年次：基礎的な事柄を確実に習得させるゼミを行う。 修士2年次：余裕をもって修士論文を完成させるよう指導する。		0.25	・2年次代数：前期では追試の後、数名の学生に口頭試問も行った。出席者全員に数学の面白さを伝えるはやはり難しい。 ・卒業研究：ゼミ生が良くがんばり、私が教えられるが多かった。 ・修士1年：専門書が予想以上に難しく理解させるのに苦勞した。 ・修士2年：修士論文は内容を絞って、院生自身が考えたことをもっと含めるべきだった。	
研究	0.25	べき零行列, ヤング図形の研究を継続し, 論文を投稿する。		0.25	・7月投稿した論文が12月にrejectされた。予想以上に証明が複雑で奥が深いことがわかり改訂を行っている。 ・8月研究対象が近い研究者を琉大に招いてお互いの研究内容を説明しあったことは良い刺激になった。 ・10-12月, 国際誌から依頼されたレフェリーを1件行った。	
社会 貢献	0.10	8月の教員免許更新では, 出席者の満足を得られるような講義をする。高校数学を考える会に出席する。		0.10	・8月:教員免許更新講習は, 出席者との会話から判断して満足してもらったようである。・5月:高校数学を考える会は授業と重なったので欠席した。・11月:今年度の数理4年次の教員採用試験合格者の紹介を琉大HPに掲載した。	
管理 運営	0.35	管理運営の仕事を滞りなく行う。		0.35	・多くの教職員の協力を得て, 6月学位授与機構に現況調査表を提出した。・人事や非常勤教員の継続の対応など, 学科教員の研究時間の確保を判断基準にして, 管理運営の仕事を行った。	
進路 指導	0.05	4年ゼミ生および大学院生の, 卒業後の進路に応じた進路指導行う。		0.05	・9月教育実習を参観した。・教員志望のゼミ生には今年度の教員採用試験問題の解説をし, 公務員志望のゼミ生には進路のアドバイスをを行った。	
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		佃 修一	所 属	理学部 数理科学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	学生が自分の頭で考える習慣を身につけることが出来るようつとめる。 卒業研究のゼミ生2名は大学院進学を希望しているため、数学の力をつけることを主眼に指導したい。 また、修士の学生に対し修士論文作成に向けた指導を行う。		0.00	卒業研究のゼミ生2名は他大学大学院に合格し進学予定である。 また、修士2年の学生2名はよい修士論文を作成できた。	
研究	0.55	近年従前とは異なる研究テーマに取り組んでいるが、これに関する論文が昨年国際誌に受理される等軌道にのりつつある。この研究を推進する。 科研費に応募する。		0.00	近年取り組んでいる組み合わせ論的代数位相幾何学に関する研究が進展しつつある。 科研費に応募した。	
社会 貢献	0.05	教員免許更新講習に協力する。		0.00	教員免許更新講習を行った。	
管理 運営	0.10	教育委員会等の委員として学部、学科運営に貢献する。		0.00	学部、学科運営に協力できたように思う。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		0.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		林 正史	所 属		理学部 数理科学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.40	前学期:微分積分学ST(月3)、情報理論I(木2) 後学期:情報理論II(木2) 通年: 大学院アクリュアリーコースのゼミ、4年次卒業研究			0.40	前学期:微分積分学ST(月3)、情報理論I(木2) 後学期:情報理論II(木2)の講義を担当した。 また、大学院アクリュアリーコースのゼミ、4年次卒業研究を担当した。		
研究	0.40	確率解析の研究を行っていく。			0.35	パラメトリックスに関連する研究成果をまとめ、論文を投稿した。		
社会 貢献	0.00	なし			0.05	理学部体験ツアー(オープンキャンパス)の数理科学科の担当をした。		
管理 運営	0.20	教務委員、選挙管理委員、4年次指導教員、冠婚葬祭委員、広報委員			0.20	各委員会の職務を行った。		
	0.00				0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成29年5月以降に学内外へ公表されます。

平成28年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		眞野 智行	所 属	理学部 数理科学科	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成28年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成28年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	共通教育科目の微分積分および1年生向けの基礎ゼミ、専門科目の解析学、4年生向けの卒業研究を担当する。初学年に対しては基礎ゼミなどで高校数学から大学数学への橋渡しがうまくいくように留意しつつ基礎学力の定着を目指し、高学年に対しては基礎学力の実践能力および専門知識を身につけることを目標とする。		0.35	講義では多くの内容を消化することよりも比較的ゆっくり時間をとって丁寧に説明を述べることを心がけた。レポートや問題演習を課すことにより実践力についてもいづらか身に着いたのではないかと考える。	
研究	0.30	科研費採択課題である「線形微分方程式の解の大域挙動とモノドロミ保存変形に関する研究」について引き続き研究を行う。前年度までにいくつかの結果が出て論文にまとめることが出来たが、今年度はさらにそれを進展させていきたい。		0.35	共同研究の結果についていくつかの学会・研究会で発表を行うことができた。論文をいくつか執筆し、国際学術誌に投稿した。新しい課題についても研究が進んだ。	
社会 貢献	0.10	教員免許状更新講習の提供を行う予定である。		0.00	教員免許状更新講習については希望者が規定数に達しなかったため残念ながら開講されなかった。	
管理 運営	0.30	学士教育プログラム推進委員やその他委員会委員に当たっている。教育の改善やその評価などに関わる内容を含むので、支障のないように職務を遂行したい。		0.30	委員会活動について特に滞りなく業務を遂行することができた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内外公表に同意しない。		